

## 【PPP用語集 No1】 PPP、NPM、PFI、VFM

**PPP(Public Private Partnership)**

「官と民のパートナーシップ」。

行政機関が行ってきた行政サービスを民間委託(アウトソーシング、公設民営)、PFI(Private Finance Initiative)などの民間化手法を活用し、民間企業、住民、NPO等と協働して提供することで、行政の効率化と同時に公共サービスの質的向上を実現する取り組みである。従来のパートナーシップと異なる点は、行政サービスとそれを遂行するための総務、財務等の間接部門を含め行政機関が担ってきた業務を対象とすること、行政可能性の限界を認識した上で協働を実現するものであり、あくまでも行政のスリム化を大きな目的とすること、協働する民間企業や住民等の責任と役割を明確化し、公共サービスを担うことに対する説明責任等を民間企業等も行政同様に負担することなどである。したがって、官民のパートナーシップにおいては、明確な契約関係に基づく役割、責任そして達成すべき目標とメリットの明確化、それに対する評価制度(モニタリング)の導入などが前提となる。英国のブレア政権がサッチャー政権以降の取り組みであった民間化政策の検証に基づき、効率化への取り組みを維持しつつ公共サービスの質的改善を実現するために提示したものである。そして、官と民にある、異なる資源を活用し、新たな活動領域を創造しようとする取り組みも展開され始めている。PPPの取り組みを通じて、公共サービス提供の再編成を実現すると同時に、公共サービスの民間化の流れを拡充し、公共サービスの提供を担う民間のサービスマネジメント業の市場もできつつある。日本においても日本版PPPを模索されており、経済産業省日本版PPP研究会では「公共サービスの民間開放」としてすすめている。北海道大学宮脇教授によると、PPPの考えは、パートナーシップと公共サービスの再評価の必要性があり、公共サービスの官独占からの脱却、公共サービスの単純な民営化論への反対、行政のモニタリング機能の重視が必要な視点である。

**行政評価**

一定の目標に対して行政機関の業務がどれだけ効率的に達成したかを統一的な視点と手段で客観的に評価し、その評価結果を行政運営の改善に反映させること

**NPM (New Public Management)**

民間企業で活用されている経営手法を可能な限り公的部門へと活用することにより、公共部門のマネジメントの革新(公共事業、サービス提供の多様化による質や効率の向上)を図ろうとする取り組みである。1980年代のサッチャー、レーガン政権に代表される市場原理主義の流れをくむものであり、公的部門への資源(人・資金等)投入の多様化、組織の統制基準の見直し等を柱に、国民・住民の視点に立って行政サービス等の提供を検討することを視点としている。小泉政権の改革でもNPMの考え方が基本的な理念として位置づけられている。

<NPMの手法>

**PFI**(下記参照)

**行政評価**(PPPの項目参照)

**公会計改革**：

行政機関で適用されている公会計制度に対して、発生主義をはじめとした民間企業の会計手法である企業会計原則等の考え方を導入するもの。公会計は、財政民主主義の担保として現金主義、単年度主義等を基本原則としている事前会計としての性格を有している。これに対して、発生主義、多年度主義、管理会計的手法を取り入れ事後会計や政策評価に資する会計情報の形成を目指す取り組みである。

**ABC** (Activity Based Costing, アクティビティ・ベースド・コストイング):

活動基準原価計算のことで、役所の個々の仕事にかかる人件費など諸々のコストをすべて計算し、把握する手法

**住民参加** (Citizen Involvement, シチズン・インボルブメント)。:

自治体にとって顧客となる住民の意見を、積極的に行政に取り入れると同時に住民との間で情報共有を図り、住民の財政錯覚等の状況を改善しパートナーシップ実践の基礎を形成すること。

**CS 調査, CS 経営** (Customer Satisfaction, カスタマー・サティスファクション):

顧客満足度。行政での顧客とは、いわゆる住民のことであり、住民の意見を調査し、それに基づいた行政の運営をすること。ただし、民間企業と異なり住民のニーズに基づく個々の満足を追求することではなく、限られた資源の中で以下に地域価値を高めるかが最終的な目的となる。

**バランス・スコアカード:**

民間企業で経営を管理するマネジメントシステムを行政でも利用する。多角的な視点で経営戦略を実践できる。

**経営品質賞(行政経営品質) :**

企業経営での品質賞の授与を行政に応用。三重県、岩手県、高知県、三鷹市などで取り組んでいる。

**ISO9000 シリーズ:**

マネジメント・サイクルや顧客を重視した改革など、NPM 的な手法と同様の、改革への取り組みがみられる。

**政策マーケティング :**

民間のマーケティング手法を政策形成において活用していく手法。青森県などで取り組まれている。

### **PFI (Private Finance Initiative)**

1992年に英国で導入されたNPMの実践的手法の一つ。政府や自治体の公共部門が対応してきた公共施設などの整備や維持管理、運営を、官民役割分担のもとに民間の資金や能力、ノウハウを活用することでより効率的に行おうとする考え方に基づく。日本でも導入され、1999年7月「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI推進法)」成立された。2003年現在実施件数は100件を超えている。

### **VFM (Value for Money)**

事業等の有効性を評価する手法の一つであり、公共事業、サービスにおいて投資したお金(コスト)に比べどれだけ効果があったかを測定する指標。現実的には、効果を測定することが難しいなどの課題がある。